



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	平成26年度国際FDワークショップ：初心者向けキャリア・カウンセリング入門
Author(s)	Shoji, Nori; 佐藤, 順子; 松野, 祥子
Description	北海道大学高等教育推進機構FD研修, 平成26年度国際FDワークショップ「初心者向けキャリア・カウンセリング入門」. 主催: 高等教育推進機構・新渡戸カレッジ. 日時: 平成26年11月19日(水) 16:30～19:50、場所: 北海道大学情報教育館4階 共用多目的室(2)
Relation	平成26年度国際FDワークショップ「初心者向けキャリア・カウンセリング入門」. 平成26年11月19日. 北海道大学情報教育館4階 共用多目的室(2), 札幌市.
Issue Date	2014-11-19
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/58424
Type	learning object
File Information	FD_text.pdf, テキスト





新渡戸カレッジ
NITOBE COLLEGE

高等教育推進機構FD研修 国際FDワークショップ



初心者向けキャリア・カウンセリング入門

期日：平成26年11月19日（水）16:30～20:00

会場：情報教育館4階 共用多目的室（2）

主催：高等教育推進機構・新渡戸カレッジ

プログラム

北海道大学高等教育推進機構 F D 研修

平成 26 年度国際 F D ワークショップ 「初心者向けキャリア・カウンセリング入門」

日時： 11 月 19 日（水） 16:30～20:00

場所： 情報教育館 4 階 共用多目的室（2）

プログラム 16 時 30 分～20 時 00 分 （約 3.5 時間）

16:15	受付開始
16:30	挨拶・概要説明 川畑智子（高等教育推進機構特任准教授）
16:35	基調講演 Nori Shoji（20 分） 「アメリカの大学におけるハラスメントの予防解決に向けた学生相談」
16:55	講演 1 佐藤順子（20 分） 「学生相談から見える基本的な学生支援の方法」
17:15	休憩（5 分）
17:20	講演 2 松野祥子（20 分） 「キャリア・カウンセリング入門～学生を対象とする基本的な相談支援のスキル」
17:40 (途中休憩あり)	ワークショップ： 松野、Shoji、佐藤、成瀬、新井、伊藤（135 分） アイスブレイキング 学生支援 事例検討 カウンセリング体験（模擬カウンセリングと実践） ふりかえり
19:55	挨拶： 木村純（高等教育推進機構特任教授）（1 分）
19:56	アンケート（4 分）
20:00	終了

※時間配分は状況に応じて変更する場合があります。

目次

プログラム.....	1
目次.....	2
講師プロフィール.....	3
基調講演.....	7
講義 1.....	25
講義 2.....	32
ワークショップ.....	34
事例検討.....	36
カウセリング体験.....	38
カウセリング体験シート.....	39
カウセリング体験シート.....	40
カウセリング体験シート.....	41
ふりかえり.....	42
マニュアル・進行.....	43
参加者名簿.....	44
カウセリング体験 グループ割表.....	45
座席配置図(基調講演・講演 1).....	46
座席配置図(講演 2).....	47
座席配置図(ワークショップ).....	48
参考資料 新渡戸カレッジの基本理念と教育目標.....	49
Free Memo.....	50

講師プロフィール

基調講演 講師

Nori Shoji ノリ・ショウジ



オハイオ・クリスチャン大学特任教授
アルファ精神科クリニカル・カウンセラー

専門分野：人材育成／組織心理学を重視した組織的リーダーシップ論ビジネスや臨床の分野で大学院レベルの授業開発担当。主に、組織的リーダーシップ、多文化理論、異文化臨床実践を担当。医師や心理学者らと連携して国際的な活動を展開。アメリカ中西部で、アジアの専門家向けに異文化カウンセリングを実施。オハイオ州立大学において218万ドル（約2億円）規模の学生企画の開発および運営を担当。

講師 1

佐藤順子 さとう じゅんこ



臨床心理士 産業カウンセラー
秋田県教育庁スクールカウンセラー

大学院で心理学を専攻。病院臨床を経て、秋田県立大学学生相談室、早稲田大学ハラスメント相談室を担当。教育分野の心理臨床を中心に活動している。現在は秋田県教育庁スクールカウンセラーと由利本荘看護学校非常勤講師。

講師 2

松野祥子 まつの しょうこ

ワークショップ講師



産業カウンセラー
CDA(キャリア・ディベロプメント・アドバイザー
厚生労働省キャリア・コンサルタント能力評価試験合格)

大学で心理学を学び卒業後は、音楽制作・人材ビジネス企業などの民間企業や大学就職課・職業訓練機関等の職場を経て現在はキャリアカウンセラー・EAPカウンセラー（エンployee・アシスタンス・プログラム・カウンセラー）として従事。

基調講演



アメリカの大学における ハラスメント の予防解決に向けた学生相談

莊司典蓉

オハイオ・クリスチャン大学

アルファ精神科クリニック、クリニカル・カウンセラー

自己紹介

Personal Introduction



アメリカの大学における ハラスメント

ハラスメント： アメリカの大学における定義

- 攻撃的（押しの強い）プレッシャー
- 脅迫
- 妨害を目的とする態度
- 脅しを目的とする態度



アメリカの大学におけるハラスメントの種類



- 人種
- 国籍、出身地
- 性別
- 年齢
- 性的指向
- 性アイデンティティー
- 社会・経済的地位
- 障害

アメリカの大学におけるハラスメントの頻度



- 約2/3の大学生が何らかの形でハラスメントを経験する。
- 実際に報告されるケースは20%以下。
- 約60%の大学生が大学内における他の学生へのハラスメントを目撃している。

アメリカの大学キャンパスにおける ハラスメント の予防、及び解決

アメリカの大学によるハラスメント の予防解決の為の一般的手段

1. ハラスメント予防解決の為、専門部署を設置する。
2. 上記部署に十分な権限を持つ責任者を任命する。
3. ハラスメントに関する学内規則を制定する。

アメリカの大学によるハラスメント の予防解決の為の一般的手段

4. ホームページを作る。

- ・ ハラスメント及びそれに関する学内リソースの情報を充実させる。
- ・ 情報を求める人にとっての「ワンストップ・ショップ」。

5. これらの情報の周知を徹底する。

- ・ ゼロ・トレランス、寛容度ゼロのメッセージ。
- ・ ホームページ上のハラスメント関連のページに、ハラスメント対処情報やハラスメントを報告する為のリンクを設ける。

アメリカの大学によるハラスメント の予防解決の為の一般的手段

6. 部署責任者の管轄下で働きを補佐する人材を任命する。

- ・ 補佐者の紹介及び連絡先を学内で広く共有する。

7. ハラスメント相談チームを任命する。

- ・ ハラスメントに関する相談を最前線で引き受けるチーム。
- ・ 相談の内容を調査する担当者を決める。
- ・ 被害者をケア提供者に紹介し、結果を部署責任者に報告する。

アメリカの大学によるハラスメント の予防解決の為の一般的手段

8. ハラスメントに関するトレーニングを学内で行う。
 - ・ ハラスメントに関する学内規則に基づく各々の責任についての集中トレーニング。
 - ・ 一定の学科や学部、部署を重点的に選定。
 - ・ 教職員にトレーニングを施す。
 - ・ 新入生や上級生にトレーニングを施す。

アメリカの大学によるハラスメント の予防解決の為の一般的手段

9. 学部や部署間での協力関係を築く。
10. 大学内を管轄する警察署とハラスメント問題に対処する大学関係者の間のコミュニケーションを図る。
11. 大学としての迅速及び相応な対応を示す。
 - ・ 規則違反者（学生、教職員）に対して。
 - ・ ハラスメントが報告された学部・部署内での事情調査、報告、及び学生保護を最優先する対応。

アメリカの大学によるハラスメント の予防解決の為の一般的手段

12. 学生行動規範等の資料を利用する。

- 様々な情報源へのリンクを盛り込む。
 - ハラスメントに関する情報
 - 違法性的行動に関する大学のポリシー
 - 苦情申し立ての手続き
 - 被害者の為の情報源、リソース
 - ✓ 大学内でのカウンセリングサービス
 - 警察
 - 保護命令
 - 被疑者の権利・被害者の権利

ウェブサイト例:

オハイオ州立大学
[HTTP://SWC.OSU.EDU/SEXUAL-VIOLENCE/SEXUAL-VIOLENCE-
EDUCATION/SEXUAL-HARASSMENT/](http://swc.osu.edu/sexual-violence/sexual-violence-education/sexual-harassment/)

重点：

- 該当するハラスメントの定義
- ハラスメントの例
- ハラスメントとそれに該当しない状況の比較
- 支援を提供する窓口や機関のリスト
- 「今、何をすべきか」のリスト
 - 学内カウンセリングサービスからカウンセリングを受ける等

アメリカの大学内における カウンセリングサービスの ハラスメント に対する対応

アメリカの大学内で提供されている カウンセリングサービス

フルタイムの学生は下記のサービスを受ける
ことが出来る：

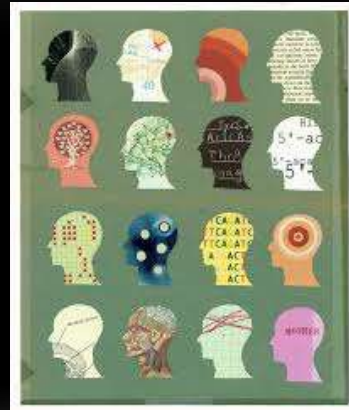
- 個別カウンセリング
- グループカウンセリング
- 精神科
- アウトリーチ
- ワークショップ
- 重大事件に関する報告
- 教職員の為の相談
- 地域のリソース紹介



アメリカの大学内で活動する**カウンセリング**専門家

フルタイムの学生は下記の専門家から**カウンセリング**を受けることができる：

- 精神科医
- 心理学者
- クリニカル・カウンセラー
- ソーシャルワーカー



アメリカの大学内における外国人留学生の為の**カウンセリングサービス**



大学内での**カウンセリングサービス**は下記の目的をも果たす。

- 外国人留学生の精神的及び感情的ニーズを満たす。
- 異文化に対する適応や移行に関する問題に対応する。

ハラスメント問題におけるカウンセリング の概念及び原論

- ・ 沈黙を破ることを奨励する。
 - 沈黙によって守られるのは加害者だけである。
- ・ サポートの重要性及び必要性を説く。
 - 信頼出来る家族や友人からのサポートを求めることを奨励する。

ハラスメント問題におけるカウンセリング の概念及び原論

- ・ 下記のような体験を話し合う。
 - 不安
 - ストレス
 - フラストレーション（欲求不満）
 - 物事を制御・コントロール出来ないという気持ち
 - ✓ 普段の自己任務が果たせない
 - ✓ ハラスメントが起きるかも知れない現場に行く恐怖

ハラスメント問題におけるカウンセリング の概念及び原論

- ハラスメントの証拠を集める為の手引きをする。
 - Eメール、メール（SMS）、ボイスメール、手紙等
- ハラスメント体験の記録をとる。
 - ハラスメントの詳細
 - ✓ 自分に害を及ぼした行為を記録する。
 - ✓ ハラスメントを止める為に採った行動を記録する。
 - 体験した感情

ハラスメント問題におけるカウンセリング の概念及び原論

- 加害者とコミュニケーションをとる為の手引き
 - ハラスメントの中で止めて欲しい具体的行動を特定する。
 - 「No」と言う勇気を持つ。
 - 何が不愉快の思いに繋がるか、を伝える。
 - ✓ 対話で
 - ✓ 書式で
 - ✓ Eメールを通して
 - 問題と向かい合って対処することを、信頼出来るサポーターと練習する。

アメリカの大学における ハラスメント に対応する教職員の為のガイド

学生がハラスメントに直面した時の教職員の役割



重要で前向きな役割を果たす。

- ハラスメントにより苦しんでいる学生を見分ける。
- 学生の自己支援の為のリソース検索を援助する。

学生がハラスメントに直面した時、 教職員が果たすべき任務

ハラスメントについて相談されたり、
ハラスメントを目撃した時：

- 該当する大学内の部署に報告する。
- 相談者に大学内での支援サービスについて情報を提供する。
- 事態を出来るだけ隠密に扱う。
- ハラスメントを止めさせる為の手段をとる。
- 相談者を報復行為から守る。



ウェブサイト例:

ミシガン大学
[HTTP://CAPS.UMICH.EDU/FACULTY-STAFF](http://CAPS.UMICH.EDU/FACULTY-STAFF)

重点：

- 教職員の為の実用的なガイド
- 適切なリソースを手早くアクセスする為のリンク
 - 当該するトピックについて学生と話し合う為のアドバイス
 - 非常時や緊急を要するケースの場合に取るべき行動
 - 学生が体験する問題の見分け方

アメリカの大学における ハラスメント

予防： チャレンジは続く

学生たちはいまだ大学内でのハラスメント
と戦い続けている。



ハラスメント予防におけるチャレンジ

例：

ハラスメントに関する相談内容を完全に秘密保持するという保障は不可能。

- 被疑者に被害者の身元を知られずにハラスメントを止め、問題を解決する大学側の能力。

大学とハラスメント被害者（場合によっては別の目撃者も含む）の間の利害の対立。

- 相談者に物事を進める意思が無くても、大学側は適切な措置を取る権利を保持する。

ハラスメントに関するチャレンジ カウンセリングを通しての対応

例：

学生は秘密保持の原則に基づいたカウンセリングでハラスメントについて相談することが出来る。しかし。。。。

- カウンセラーと相談後、被害者がそれ以上何の処置も望まないかも知れない。
- カウンセラーには相談者に対する守秘義務がある為、カウンセラーにアドバイスを求めるという行為は、ハラスメント事件を報告したことにならない。

半数以上の大学関係者は、現存の**ハラスメント**
報告及び対処メカニズムは不十分であると考えている。

参考文献

Bucchianeri, M. M., Eisenberg, M. E., & Neumark-Sztainer, D. (2013). Weightism, racism, calssism, and sexism: Shared forms of harassment in adolescents. *Journal of Adolescent Health*, 53(1), 47-53.

Lundy-Wagner, V., & Winkle-Wagner, R. A harassing climate? Sexual harassment and campus racial climate research. *Journal of Diversity in Higher Education*, 6(1), 51-68.

Northwestern University Women's Center. (2014). Responding to harassment. <http://www.northwestern.edu/womenscenter/issues-information/sexual-harassment/responding-harassment.html>.

Slobe, T. (2014). Help the Obama administration fight sexual assault on college campuses. <http://www.sparksummit.com/2014/02/03/help-the-obama-administration-fight-sexual-assault-on-college-campuses/>.

The Ohio State University. (2014). Resolution Agreement: OCR Docket #15-10-6002. <http://www2.ed.gov/documents/press-releases/ohio-state-agreement.pdf>.

The Ohio State University. (2014). <http://swc.osu.edu/sexual-violence/sexual-violence-education/sexual-harassment/>.

University of Illinois at Urbana-Champaign. (2014). <http://www.counselingcenter.illinois.edu/outreach-counseling/international-students/>.

University of Michigan. (2014). <http://caps.umich.edu/faculty-staff>.

講義 1



北海道大学 高等教育推進機構FD研修

学生相談から見える 基本的な学生支援の方法

臨床心理士 佐藤順子

自己紹介

- ・臨床心理士 産業カウンセラー
- ・大学の学生相談室勤務
小規模な公立理系大学
大規模な私立有名大学



(現在は中高のスクールカウンセラー)

大学生を支援することの難しさ

「大学生にそこまでやる必要があるのか？」
「特別扱いしたら、他学生に示しがつかない」
「自分たちが学生の頃はこんな風ではなかった」
「ここは“〇〇大学”なんだから！」
「大学は学生自身が主体的にすべきところだ」・・・等々



支援の必要な学生や困っている学生を見逃したり
放置したりすることになっている

※いろいろな人がかかわり、連携できるかどうか？

学生相談室から見た
学生支援
～学生生活サイクルより～

学生生活サイクルの特徴（2001，鶴田） ～入学期～

来談学生が語った主題	学生の課題	心理学的特徴
・ 移行に伴う問題 ・ 入学以前から抱えてきた問題	・ 学生生活への移行 ・ 今までの生活からの分離 ・ 新しい生活の開始	・ 自由の中での自己決定 ・ 学生の側からの学生生活へのオリエンテーション ・ 高揚と落ち込み

入学期～

1年男子A：入学式後のオリエンテーションまでは姿を見かけたが、その後あまり授業に出ていないようだった。一緒になるはずの必修科目の授業でも見かけないとの話が、1年生担当教員の耳に入るようになった。同じ高校から入学してきた友人の話では、メールを何度かしているけれども返事がないとのことだった。GWを過ぎたあたりになって、友人に「いろいろ心配してくれてありがとう。お前は元気でがんばれよ」というメールがAからあり、文面がなんだか変だから心配なんだけど、と相談があった。

学生生活サイクルの特徴（2001，鶴田） ～中間期～

来談学生が語った主題	学生の課題	心理学的特徴
・無気力・スランプ ・生きがい ・対人関係をめぐる問題	・学生生活の展開 ・自分らしさの探求 ・中だるみ ・現実生活と内面の統合	・あいまいさの中での深まり ・親密な横関係

学生生活サイクルの特徴（2001，鶴田） ～卒業期～

来談学生が語った主題	学生の課題	心理学的特徴
・卒業を前に未解決な問題に取り組む ・卒業前の混乱	・学生生活の終了 ・社会生活への移行 ・青年期後期の節目 ・現実生活の課題を通しての内面の整理	・もうひとつの卒業論文 ・自信と不安

～卒業期

◆4年女子B：入学時からそれほど目立たないタイプで親しい友人はいないようであったが、研究室の飲み会などにも出席しており、特に問題視されることはなかった。進路は大学院ということで、就職活動は全くしていない。最初の頃は卒業論文のために研究室に来ていたが、順調に進んでいるという様子でもなかった。担当教員にも相談はなく、進捗状況は誰からも把握しにくかった。ゼミへの参加も滞るようになり、4年生後半という追い込みの時期になって、パッタリと研究室に来なくなった。もともと親しい友人がいなかったため、どうやってすごしているのか誰もわからない状態になった。教員の電話やメールにも全く反応がなく困っている。

学生生活サイクルの特徴（2001，鶴田）

～大学院学生期～

来談学生が語った主題

- 研究生活への違和感
- 能力への疑問
- 研究室での対人関係
- 指導教員との関係

学生の課題

- 研究者・技術者としての自己形成

心理学的特徴

- 職業人への移行
- 自信と不安

大学院～

M1年男子C：学部4年生の時、Cは大学院進学か就職かで悩んだが、親は大学院進学・研究職を強く勧め、本人もより専門の勉強をすると言って大学院に進学した。ところが、進学から3～4ヶ月で「研究に意欲がわかず、大学に行く気にならない」と言い始めた。

高校も大学も比較的優秀な成績できており、これまで学業面で問題を感じたことはなかった。ただ卒論の時期に大学にあまり顔を見せなくなった時期がある。主体的に進めることが求められる大学院生活になって、また卒論時のような不登校傾向がみられてきて心配だという話が出ている。

どういう支援ができるだろうか？

青年期の発達課題

＜同一性 対 同一性拡散＞

Erikson, E.H.

講義2 ワークショップ





キャリア・カウンセリング入門

学生を対象とする基本的な相談支援のスキル

国際FDワークショップ (2014/11/19)

本日のメニュー



- キャリア・カウンセリングとは…
 - ☞ カウンセリングとは違うの？
 - ☞ 現場で起きていること

- 明日からすぐに活かすためには…
 - ☞ 理屈より体感

本日の目的



- 学生との信頼関係を築くコツ
 - 日常会話を大切に
 - 聞く・訊く・聴く
- キャリア・カウンセリングをまず体験
 - 現役学生さんの相談を体験
 - 自分らしい聴き方を見つける

お尋ねします…

これまでに学生さんの対応で困ったことはありますか？

信頼できる場にするためのお願い



- お互いの話を尊重しましょう。
- ここの場で得た個人情報や外に持ち出さず会場内にとどめましょう。
- 相手の意見や自分自身のことを一方的に決めつけず耳を傾けましょう。
- 傍観者とならず、できるだけグループに参加しましょう。
- グループの時間を独占せず共有しましょう。
- 今日は〇〇さん付けで進めましょう。

軽く体感

〈あなたの好きなものを教えてください！〉

- 進め方
 - 2人一組を作ります。
 - 話し手、聴き手を決めてください。
 - 先ず話し手さんの好きなものについて語ってください。
 - 聴き手さんは()が好きな〇〇さんに質問をして話を深めてください。

()を好きな
(お名前) 〇 〇 です。

〈あなたの好きなものを教えてください！〉

進め方

- 2 人一組になります
- 話し手、聞き手を決めてください
- まず、話し手さんの好きなものについて語ってください(2 分)
※聞き手さんは聞くことに集中してください
- 聞き手さんは()が好きな〇〇さんに質問をしながら話を続けてください(3 分)

好きなものの例・・・食べ物、曲、映画、場面… etc.
質問の例・・・〇〇さんが()を好きになったきっかけは？
〇〇さんは()のどこが好きですか？… etc.

あなたの好きなものは？…

_____を好きな
(お名前 _____) です。

memo

事例検討

- 佐藤としきさんのケース
 - 年齢：21歳
 - 専攻：社会福祉学部 3年生
 - 悩み：サークルの人間関係で悩んでいる
- ☞ 内容を読んで気になるところはどこですか？
- ☞ あなたならどのようなことばをかけますか？

事例検討

(佐藤としきさんのケース)

- 年齢；21 歳
- 専攻；社会福祉学部 3 年生
- 悩み；サークルの人間関係で悩んでいる

先生には、これから始まる福祉施設での実習について相談しにいくが、そのついでにサークルでの悩みごとについて話し始める。入学したときから、学校祭の実行委員会に所属しており、3 年生になった今年はコアスタッフとして、委員を束ねる立場になった。

かねてから評判であったが、コアスタッフには仕事が過度に集中し、寝る間を惜しんで作業することになる。1・2 年生からは、「3 年ばかりで勝手に企画しており、私達の意見を取り入れてくれない」と不満の声が上がっている。1 週間後に実習も始まるので、これ以上忙しくなると、身が持たないのではと気持ちが落ち込んでいる。

memo

カウセリング体験

ロールプレイングで体験

- グループを作ります
- 3セッション実施
- 各回のご自身の役割を確認してください

※相談員役は全員が体験



カウセリング体験 グループ割表

	グループ	相談員役	ワザ-ブ①	ワザ-ブ②	学生役
セッション 1	A				事例1(新井)
	B				事例2(成瀬)
	C				事例3(川畑)
	D				事例4(伊藤)
セッション 2	A				事例1(新井)
	B				事例2(成瀬)
	C				事例3(川畑)
	D				事例4(伊藤)
セッション 3	A				事例1(新井)
	B				事例2(成瀬)
	C				事例3(川畑)
	D				事例4(伊藤)

参加者氏名省略

カウ ン セ リ ン グ 体 験 シ ー ト

【セッション1】

学 生()	相談員()
どんな相談でしたか？ / 気になったことは？	

カウンセリング体験シート

【セッション 2】

学 生 ()	相談員 ()
どんな相談でしたか？ / 気になったことは？	

カウンセリング体験シート

【セッション 3】

学 生 ()	相談員 ()
どんな相談でしたか？ / 気になったことは？	

全体をふり返って



- 率直な感想をお聞かせください！
- 明日から使えそうなことはありましたか？
- 今後、心がけていきたいことは？

まとめ

- キャリア・カウンセリングはいつでもどこでも
- その方の人生に関わるということ
- ことば、態度、表情からのサインを見逃さない
- 共に未来を描いて…

～ 遅くまでお疲れさまでした。ありがとうございます ～

マニュアル・進行

2014年11月19日(水)

- 14:30 スタッフ集合 情報教育館4階 共用多目的室(2)
会場設定・持ち物確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・＜成瀬・新井・伊藤・川畑＞
15:00 最終確認 (60分)
16:15 受付開始・・・・・・・・・・・・・・・・・・＜成瀬・新井・伊藤＞

名札(名札で出席確認), 資料を渡す。

- 16:30 受付終了(17:15まで受付待機)・・・・・・・・・・＜新井＞
照明・撮影・・・・・・・・・・・・・・・・・・＜成瀬・伊藤＞

-
- 16:30 挨拶・概要説明 川畑智子(高等教育推進機構特任教授)・・・・・・・・＜司会:川畑＞

ミニレクチャー

- 16:35 基調講演(15分+質疑応答5分)・・・・・・・・・・＜Shoji＞
「アメリカの大学におけるハラスメントの予防解決に向けた学生相談」

16:55 講演1 (15分+質疑応答5分)・・・・・・・・・・＜佐藤＞
「学生相談から見える基本的な学生支援の方法」

-
- 17:15 休憩(5分)・座席配置変更・・・・・・・・・・・・・・・・＜全員＞
不要な机を整理し、座席のみにする。

-
- 17:20 講演2 (15分+質疑応答5分)・・・・・・・・・・＜松野・司会:川畑＞
「キャリア・カウンセリング入門～学生を対象とする基本的な相談支援のスキル」

ワークショップ: 松野、荘司、佐藤、成瀬、新井、伊藤 (135分)

- 17:40 アイスブレイキング・・・・・・・・・・・・・・・・・・＜松野・司会:川畑＞
学生支援 事例検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・＜松野＞
グループ討論+全体討論 (各10分)

-
- 18:05 休憩(5分)・座席配置変更・・・・・・・・・・・・・・・・＜全員＞
グループ形式に配置する。座席に張り紙をする。

-
- 18:20 模擬カウンセリング (10分)・・・・・・・・・・＜松野・新井＞
カウンセリング体験 セッション1～3 (各15分)・・・・・・・・＜全員＞
ふりかえり(30分)

-
- 19:55 閉会挨拶 木村純(高等教育推進機構特任教授) (1分)・・・・・・・・＜木村＞

- 19:56 アンケートの配付・記入(4分)・・・・・・・・・・＜司会:川畑＞
20:00 終了
「アンケート」と「名札」を回収する・・・・・・・・・・＜伊藤＞
現状復帰・後片付け(15分)・・・・・・・・・・・・・・・・＜全員＞

- 20:30 懇親会

参加者名簿

氏名	所属	担当／専門
	メディア・観光学事務部	教務担当
	人獣共通感染症リサーチセンター	バイオインフォマティクス部門
	国際本部	国際オフィサー
	国際本部国際教務課	留学生交流担当
	北海道大学公共政策大学院	行政評価論，社会調査法，高等教育政策，インターンシップ，就職指導
	高等教育推進機構 科学技術コミュニケーション教育研究部門 (Costep)	教育支援
	国際本部留学生センター	社会学，ジェンダー研究
	工学系事務部教務課 就職企画事務室	多文化交流科目担当
	国際連携研究教育局 人獣共通感染症グローバルステーション	国際共同研究のサポート
	国際本部国際支援課	外国人留学生賃貸住宅連帯保証制度，それに関する留学生サポート・デスク，留学生一斉メール等を担
	国際本部	生活支援担当

(参加者氏名省略)

スタッフ

世話係	所属		専門
ほそかわとしゆき 細川敏幸	高等教育推進機構	教授	神経科学，科学教育
きむらまこと 木村 純	高等教育推進機構	特任教授	生涯学習
かわばたともこ 川畑智子	高等教育推進機構 ティーチング・サポート推進室	特任准教授	社会学・ジェンダー
なるせまゆう 成瀬麻夕	北海道医療大学大学院	博士課程 1 年	心理学，認知行動療法，双極性障害に関する研究
あらいひろみち 新井博達	北翔大学大学院	修士課程 2 年	臨床心理学，ひきこもりに関する研究
いとうしいな 伊藤詩菜	北海道大学大学院	修士課程 1 年	心理学

事務担当	所属		担当
さとうみなこ 佐藤美奈子	高等教育推進機構	高等教育研究部	事務
たなかまり 田中真理	高等教育推進機構	高等教育研究部	事務

カウンセリング体験 グループ割表

セッション1

グループ	相談員役	オブザーバー1	オブザーバー2	相談者
A				事例1（新井）
B				事例2（成瀬）
C				事例3（川畑）
D				事例4（伊藤）

参加者氏名省略

セッション2

グループ	相談員役	オブザーバー1	オブザーバー2	相談者
A				事例1（新井）
B				事例2（成瀬）
C				事例3（川畑）
D				事例4（伊藤）

参加者氏名省略

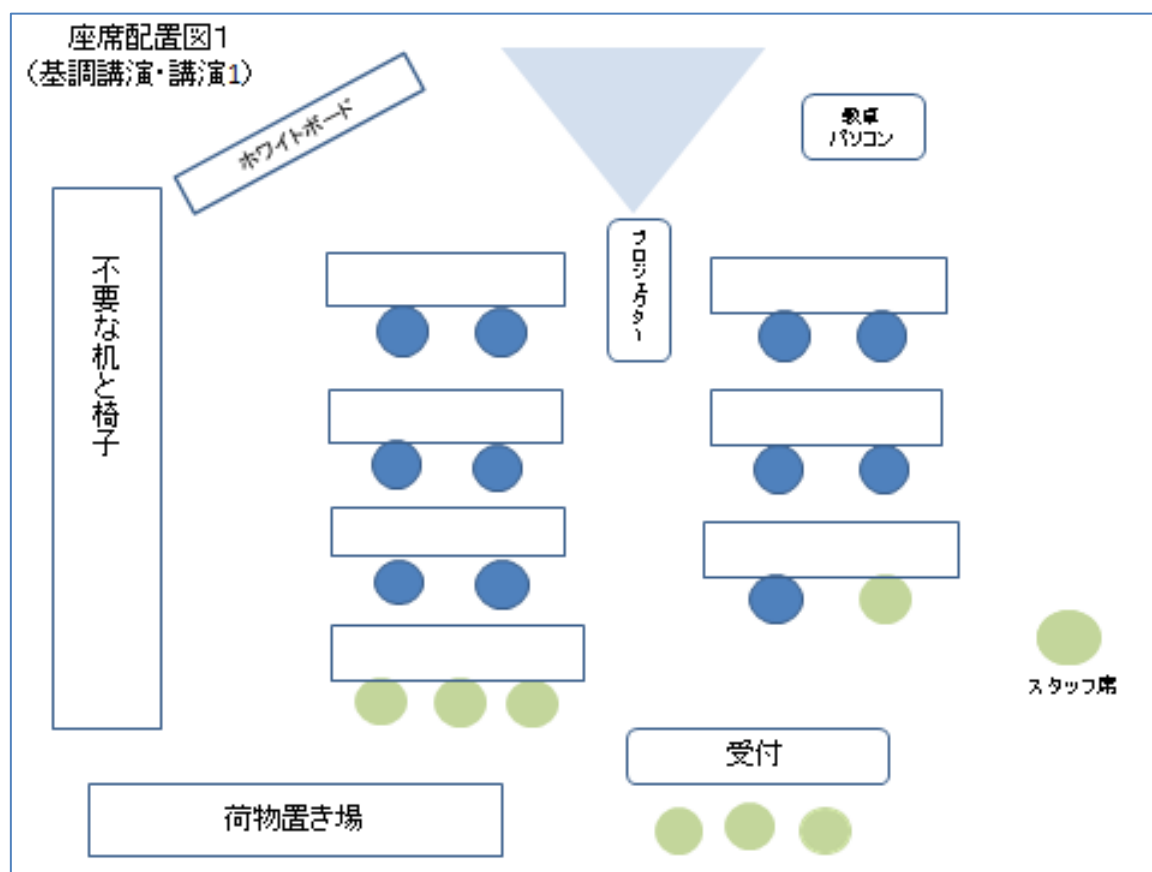
セッション3

グループ	相談員役	オブザーバー1	オブザーバー2	相談者
A				事例1（新井）
B				事例2（成瀬）
C				事例3（川畑）
D				事例4（伊藤）

参加者氏名省略

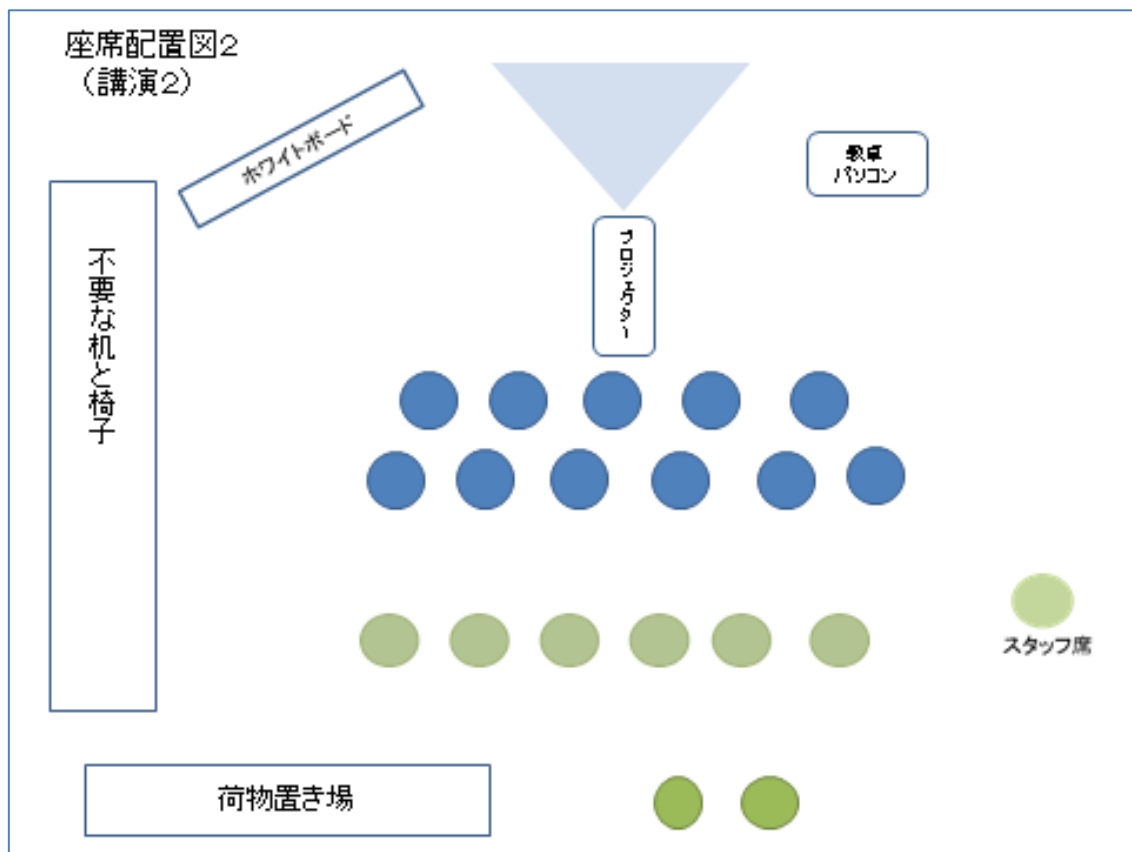
座席配置図(基調講演・講演1)

情報教育館 4 階 共用多目的室（2）



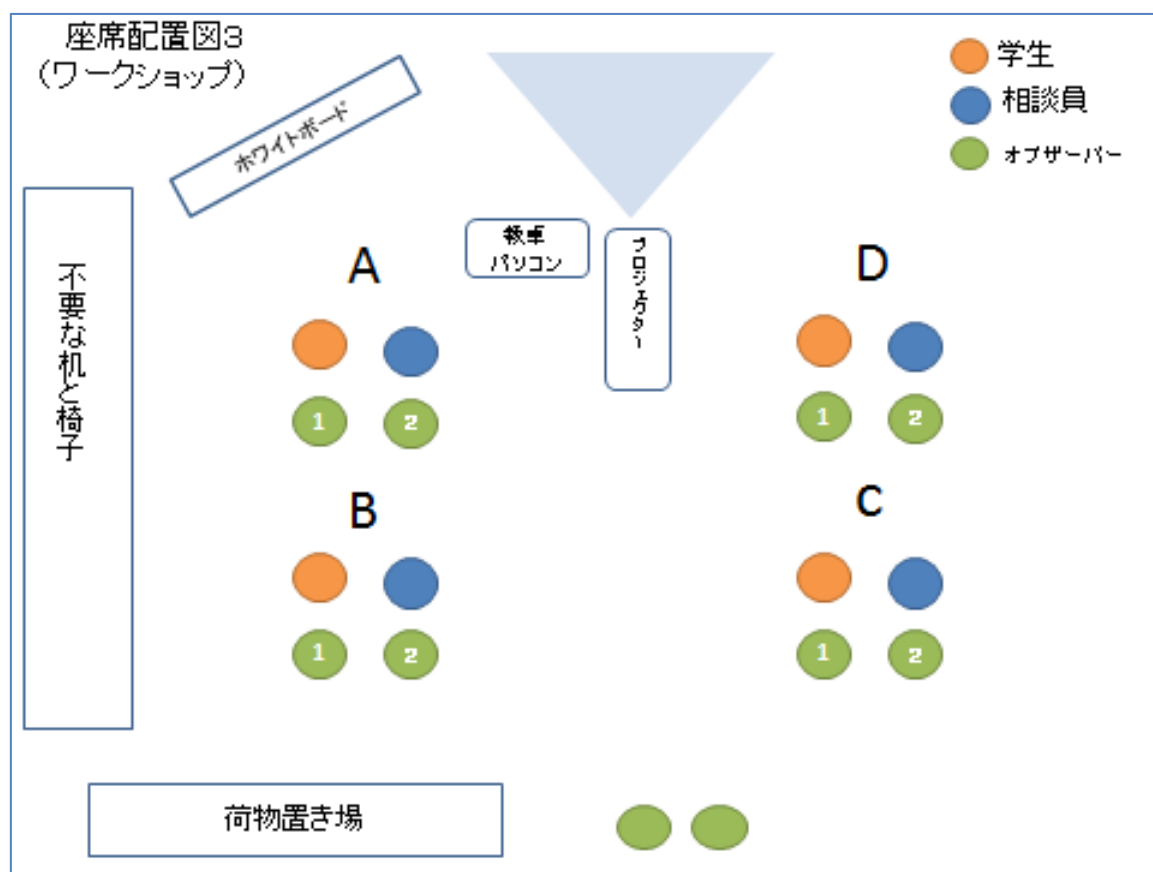
座席配置図(講演2)

情報教育館 4 階 共用多目的室（2）



座席配置図(ワークショップ)

情報教育館 4 階 共用多目的室（2）



参考資料 新渡戸カレッジの基本理念と教育目標

〈概要〉

変化の激しい現代社会を生き抜くには、基礎的・専門的な知識を身につけるだけでなく、それらを活用し応用する能力が必要です。また、グローバル化の進む現在、世界の共通語である英語を使って、様々な背景を持つ人々と円滑にコミュニケーションをとるスキルが求められています。そのためには、異文化に対する理解や協調性・柔軟性が不可欠です。さらに、現代社会にあって、積極的に時代を切り拓くリーダーには、主体性や責任感、困難に直面した際の問題解決能力やチームワーク力なども必要です。

新渡戸カレッジは、学部教育と並行して、豊かな人間性・国際性を育むために取り入れられた各種教育を実践する特別教育プログラムです。本カレッジでの学修を通して、幅広い知識にとどまらず、品位ある自律的な個人の確立、日本人としてのアイデンティティの確立、同時に国際性とリーダーシップの醸成を目指した教育が行われます。

〈新渡戸カレッジが育成する人材像〉

- ・ 本カレッジでの学修を通して、幅広い知識にとどまらず、自主的な個人の確立、日本人としてのアイデンティティの確立、同時に国際社会で必要とされるリーダーシップの醸成を目指した教育が行われます。
- ・ 留学支援英語と原則1セメスター(およそ半年)以上の海外留学により、英語力の強化を含むコミュニケーション・スキルを育成します。
- ・ 日本人としての自覚を持って、国際社会の中で自己のなすべき課題を設定し、責任感を持って、それに取り組む能力を育成します。
- ・ 多様な文化的背景と価値観を持つ人々と共に活動する能力を育成します。

〈新渡戸稲造の精神〉

- ・ 深い倫理性に基づいた品位ある自律的な個人の育成
- ・ 日本人としての自覚を持ちつつ、偏狭な排外主義に陥らない国際精神の涵養
- ・ 互いに国籍の区別を設けなくて親しく交わる国際的教育の実践

(北海道大学新渡戸カレッジホームページより抜粋)

Free Memo

